入札ボンド、秋以降に段階的導入

中建審ワーキンググループ

国土交通省はこのほど、中央建設業審議会のワーキンググループを開き、入札ボンドの段階的導入やＪＶ制度の改善などを盛り込んだ「中間取りまとめ案」について議論した。おおむね了解が得られ、若干の修正を加えた上で５月の中建審総会に報告する。入札ボンドについては、今後具体的な制度設計に着手。今年秋以降からの段階的な導入を目指すこととした。国交省の大森雅夫大臣官房審議官は、今後の制度設計に当たって、「ボンド会社だけでなく、発注者や業界団体とも調整していきたい」との考えを示した。

ダンピング受注の抑止効果に期待

ワーキンググループは昨年12月に初会合を開き、その後、入札・契約制度にかかわる個別課題として①入札ボンド②発注者支援と第三者機関③多段階審査と交渉④ＪＶ制度―について検討してきた。

いずれも、政府が目指す「一般競争方式の拡大」「総合評価方式の拡充」といった流れの中で、地方公共団体も含めた発注者の一層の取り組みを促すため、条件整備としてセットで検討したもの。

このうち、入札ボンドの導入については、市場機能を使った入札参加者の絞り込みや、ダンピング受注の抑止効果を期待。

入札ボンドは、落札者が契約を締結することを保証するとともに、履行保証の予約機能を有するものと位置付ける。対象は、原則として一般競争入札案件を想定。入札段階での発注者による資格審査開始前に、落札した場合に履行保証を受けられる金融機関などからの〝お墨付き〟を求めることになる。

実際にボンドの引受機関となるのは、損保会社、銀行、前払保証会社で、これら機関が建設業者の財務的な履行能力を中心に審査し与信。与信の規模は、発注者が求める履行保証と同じ割合とする。

今後の制度設計に当たっては、建設業者の入札参加機会が極端に狭められることのないようにするとともに、入札参加時点でボンド発行の対価を支払う必要が生じるため、建設業者の過度な負担とならないよう配慮する。また、ダンピング受注が認められた場合には、履行保証割合を高く設定するなど、ダンピング抑止効果を発揮できるような制度を考える。

各発注者は、これからの制度設計を受けた上で、入札広告に入札ボンドを位置付けられるよう事務的な手続きも進めていく。

大森審議官によると、これまでのボンド会社との調整の中で、システムづくりには一定の期間が必要との意見が出されている。今後は、これらボンド会社からの意見聴取に加え、発注者や業界団体との調整も実施。夏までに制度設計などを行った上で、関連する通達などを改正し、段階的な導入につなげていく考えでいる。

ＩＳＯの取得と活用

舞システム企画がＩＳＯセミナー

きょうから県民交流センターで

県の格付基準に対応

㈲舞システム企画（川野潤一郎社長）は4日から、鹿児島市のかごしま県民交流センターでＩＳＯセミナー「ＩＳＯの取得と活用」を開く。4日がＩＳＯ9001（品質）・14001（環境）、5日がＩＳＯ27001、8日がＩＳＯ9001（品質）・ＩＳＯ14001（環境）について解説する。受講料は無料で、当日受け付けも可。

川野社長は、1月から本紙「未来への地図」で連載。今回、県の格付け基準においてＩＳＯの評価の高まりや工事成績評価の重視などからセミナーを企画した。講師は、4、8日が川野社長、5日は審査機関として評価が高いＢＳＩジャパンが担当する。

同社では、「ＩＳＯ取得希望企業はもちろんですが、現在取得しているものの、運営的に厳しいーなど悩んでいる企業などどんなことでも構いませんので、ご気軽に参加してほしい」と話している。

問い合わせは、㈲舞システム企画（☎0995・66・0777 FAX66・0661）まで。

マンションリフォームマネジャー試験

7月3日から受け付け

住宅リフォーム・紛争処理支援センター

住宅リフォーム・紛争処理支援センターは、18年度のマンションリフォームマネジャー試験の実施概要を発表した。7月3日から8月18日に受験申し込みを受け付け、10月1日に学科・設計製図試験を行う。

マンションリフォームマネジャーは、管理組合の協力者の一人として、主に専有部分のリフォームについて施主や管理組合へのアドバイスを行うとともに、工事の調整、指導、助言などを行う。

18年度試験では、7月3日から8月18日に受験申込書を頒布（1000円）するとともに、申し込みを受け付け。10月1日に札幌、東京、名古屋、大阪、福岡で試験を実施。試験結果を12月11日に発表する。受験料は1万3650円。

建築設備診断技術者 資格取得講習会

７月に東京、大阪で

BELCA等

建築・設備維持保全推進協会（BELCA）と日本建築設備・昇降機センターは、18年度建築設備診断技術者「ビルディングドクター（建築設備）」の資格取得講習を東京・大阪の2会場で7月に実施する。申し込み受け付けは5月22日まで。大阪会場は大阪市都島区の大阪府私立教育文化会館で、7月5日から7日までの3日間開く。

建築設備診断技術者は、建築設備の物理的な劣化診断、機能診断、省エネルギー診断など、多方面から診断を行い、建築設備の維持保全に適切な提言ができる技術者を認定するもの。受講に当たっては、建築設備の診断実績が5件以上あることに加え、所有資格、学歴、実務経験などによってそれぞれ要件が定められている。

受講料は5万0400円（消費税、テキスト代含む）。講習会は、厚生労働省が職業訓練を行う建築についての実務経験が無くても受験できるが、マンションリフォームマネジャーとしての登録には、実務経験が必要になる。

問い合わせは、住宅リフォーム・紛争処理支援センター（☎03・3261・4567）まで。

県、ＩＳＯ14001認証取得

廃棄物の減量化等

県は3月24日付けで、環境マネジメントシステムに関する国際規格「ＩＳＯ14001」の認証を取得した。適用範囲は県本庁（行政庁舎・議会庁舎・警察庁舎）。審査登録機関は高圧ガス保安協会（東京都）。

基本方針として、オフィス活動では省資源や省エネ、廃棄物の減量化等を掲げた。公共事業では、リサイクル製品や排出ガス対策・低騒音型機械の使用推進、奄美地域での赤土等の流出防止にも取り組む方針だ。

土佐屋、ゴルフコンペ

来月18日、霧島市で

㈱土佐屋（岡部龍一郎社長）は5月18日午前8時28分から、霧島市の溝辺カントリークラブで第10回「土友会」ゴルフコンペを開く。

事業者を対象に費用の一部を負担する「キャリア形成促進助成金」の対象となっている。

問い合わせは、ＢＥＬＣＡ事務局（☎03・5252・3873）まで。

九州経営情報分析センター

鹿児島支店を開設

処理時間を大幅短縮

経営状況分析機関として国土交通大臣の登録を受けている㈲九州経営情報分析センター（宮崎博幸社長、長崎市）は3日、鹿児島市鴨池2丁目に鹿児島支店を開設した。

平成16年3月1日から経営状況分析（Ｙ評点）が民間に開放され、現在全国で18社が登録されている。同社は16年8月に登録を受け、会計・税務のプロ集団として、コスト削減に努め、分析料金を一律9500円と低く設定。また、分析処理の時間を大幅に短縮している。

宮崎社長は「鹿児島の建設業者の皆様に少しでも早く、身近に応対するために以前からの念願でした支店開設が実現しました。民間開放以来、分析手数料が大きく下がったことや処理時間の短縮などご好評いただいております。わずらわしい書類など必要最小限としておりますのでまずはお問い合わせからいただければ」と語っている。

問い合わせは、㈲九州経営情報分析センター（鹿児島市鴨池2丁目6－1、谷川ビル301 ☎099・284・1577 FAX255・4599）まで。

九州７県の建設情報をネットワークで結ぶウェブ九州誕生!!
◆Web九州 福岡・大分・佐賀・長崎・熊本・宮崎・鹿児島の九州7地区の情報を網羅する入札情報配信サービス
◆Web福岡 福岡県内の国・県・市町村の建設関連の情報を網羅する建設ネット
無料体験キャンペーン実施中!! kyusyu@web-kyusyu.com
有限会社ウェブ九州 〒812-0017 福岡市博多区美野島3丁目13-2 TEL 092(414)0160・FAX 092(414)0169 URL:http://www.web-kyusyu.com